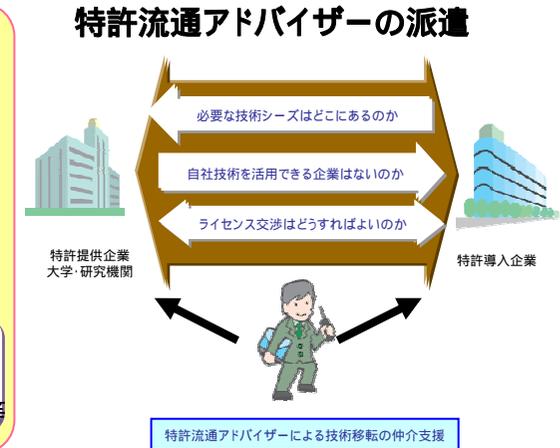
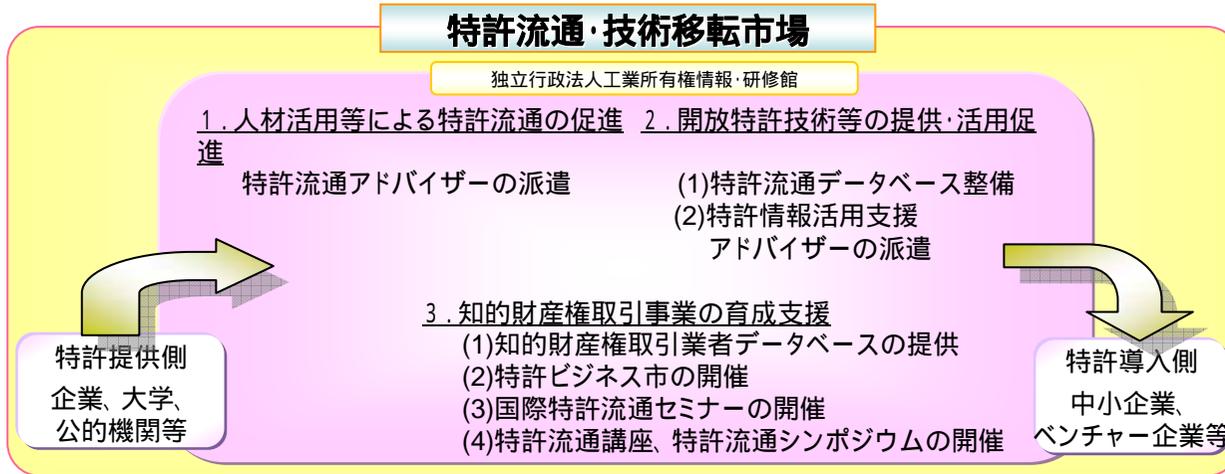


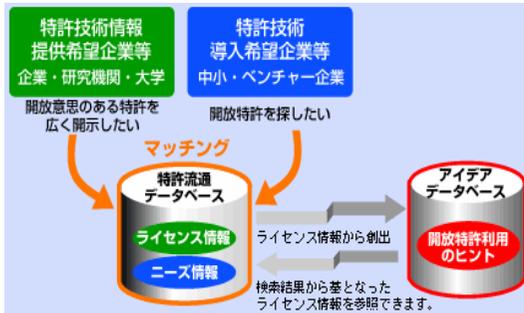
知的財産活用のための環境整備(特許流通促進事業)

我が国では、保有されていた特許のうち約2/3が未利用特許であること(平成7年度調査)が判明したことを機に、産業財産権の流通促進事業を開始した。

情報・研修館を通じて、特許流通アドバイザーの派遣、特許流通データベースの整備など、産業財産権の戦略的活用に向けた取組を行っている。



特許流通データベース整備



特許ビジネス市の開催

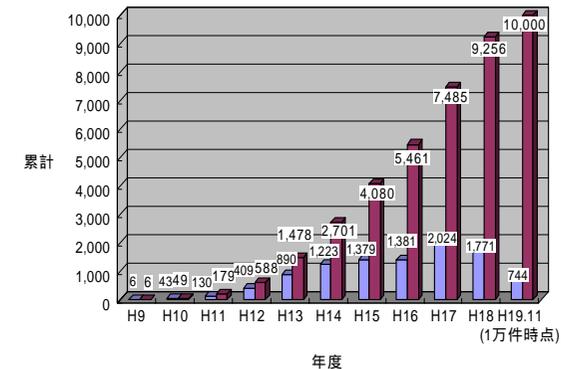


国際特許流通セミナーの開催

ライセンス等の成約件数実績

10,000件(平成9～19年11月累計)

成約件数の推移(平成9～19年11月)



知的財産活用のための環境整備(特許流通促進事業) (2)

成約案件における特許提供者の推移

・事業開始当初

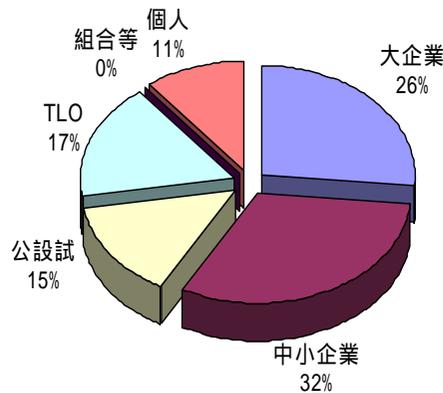
「大企業から中小企業へ」の形でスタート

・近年

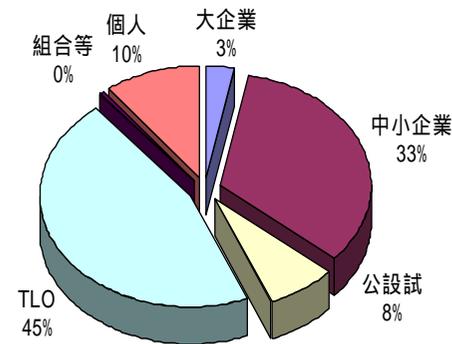
TLOの割合が増加し、「TLO・中小企業間」、「TLO・大企業間」の形へシフト

参考:特許流通アドバイザー
 全国88箇所にて106名を派遣中、
 うち、TLOは37箇所に43名

平成11年度までの累計



平成19年11月までの累計



特許提供者	～H11年度
大企業	47
中小企業	57
公設試	26
TLO	30
組合等	0
個人	19
計	179

特許提供者	～H19年11月 (1万件時点)
大企業	311
中小企業	3,318
公設試	768
TLO	4,533
組合等	47
個人	1,023
計	10,000

農林水産分野の知的財産活用

地域における知的財産の「創造・保護・活用」を更に促すため、**農林水産省と経済産業省は、知的財産分野において密接かつ有機的に連携**をとりつつ、各種施策を積極的に展開していくことで合意。(07年10月)

両省の連携施策(案)

第1 農林水産関連の知的財産の保護・活用の基盤づくり

地方農政局・経済局の連携を通じた相談機能の連携強化
制度普及・啓発機能の強化
知的財産人材の育成
特許流通データベースの活用等

第2 諸外国における知的財産の保護強化

知的財産分野における制度調和の推進
模倣品問題の解決に向けた対応

第3 地域団体商標制度の活用

地域ブランドを普及させるためのセミナーを、両省連携して開催

両省連絡会議の設置

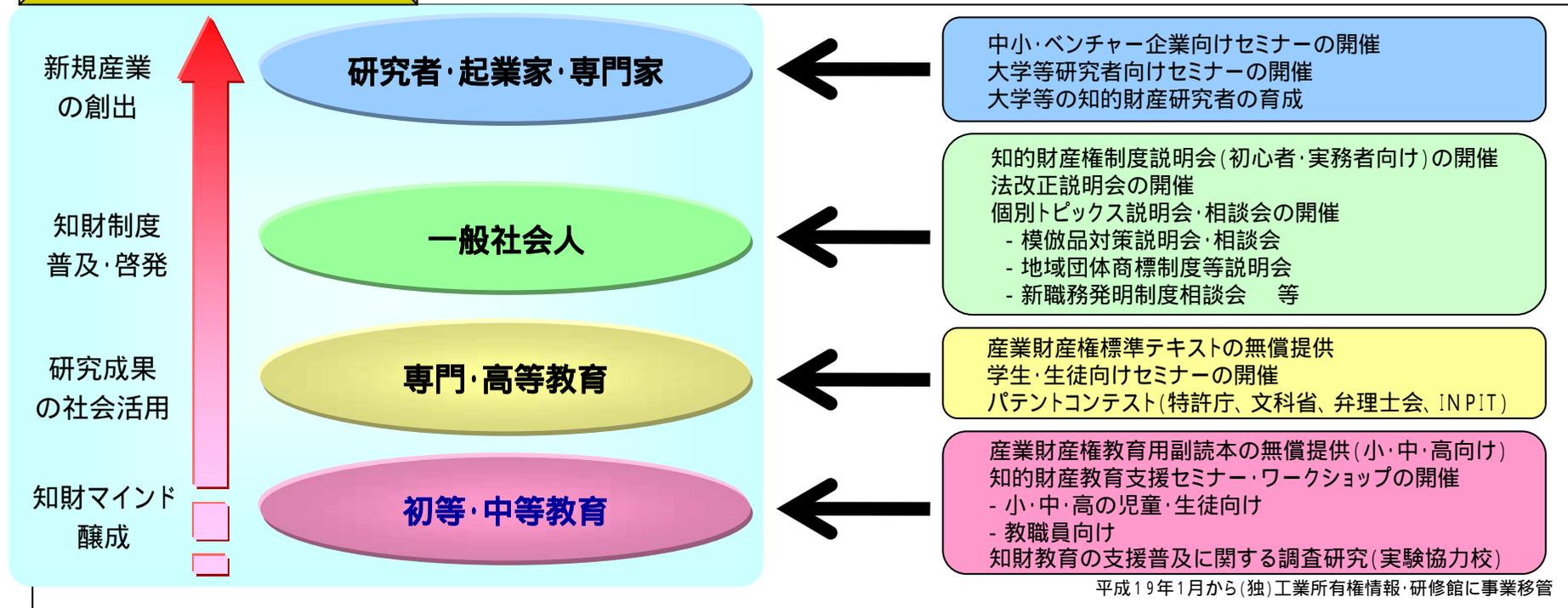
知的財産分野における両省の**連携を有機的に推進**するため、**連絡会議を設置**

知的財産人材育成の取組

知財人材の育成に向けた取組 ～ 特許庁・INPITにおける取組 ～

- 知的財産に対する関心の高まりに伴い、**知的財産人材の質的・量的な充実も必要。**
- このため特許庁及び工業所有権情報・研修館(INPIT)においては、幅広い国民を対象にきめの細かい取組を実施。

特許庁における取組



工業所有権情報・研修館(INPIT)における取組

知財専門人材の育成研修

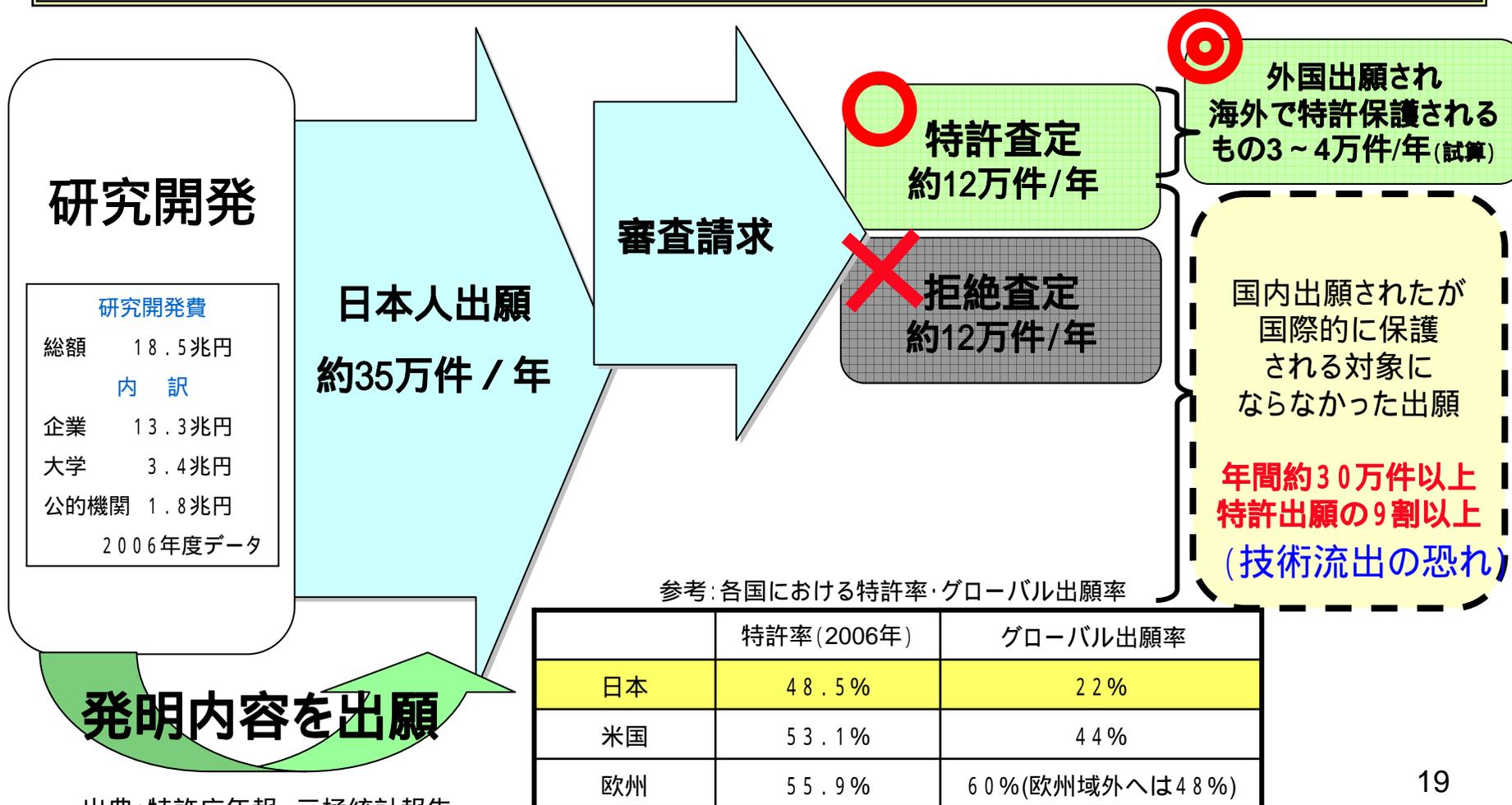
知財専門人材(弁理士、知財部員等)向け研修(審査基準討論研修)
中小、ベンチャー企業向けの研修(特許侵害警告模擬研修)
登録調査機関の調査業務実施者育成研修

検索エキスパート研修(中級・上級)
行政機関等職員に対する研修
IP・eラーニング

企業等における戦略的な知的財産管理の必要性

多数の国内出願が存在する中、国内で特許になるものは**約3割**、また海外でも保護されるものは**約1割**。

グローバルな観点からの特許戦略で、意図せざる技術流出を防止することが重要。



出典: 特許庁年報、三極統計報告

企業等における戦略的な知的財産管理の推進

企業等が国際的な競争を勝ち抜くためには、研究開発成果である知的財産を戦略的に管理する体制・手法を確立し、これを**研究開発及び事業活動と一体化させ、三位一体の経営を推進していくことが必要。**

「先使用権制度ガイドライン
(事例集)」の策定・公表
【06年6月】

「知財戦略事例集」
の策定・公表
【07年4月】

「知財で元気な企業2007」
の選定・公表
【07年4月】

知的財産の戦略的な管理について

知的財産の発掘・提案

知的財産管理ルートを選択

